

「健康と環境が守れない」無理な開発は住民の願いに逆行

大規模風車32基の建設計画

鳥取市に外国資本の日本法人「日

本風力エネルギー株式会社による大規模・集中化を図った風力発電計画があります。高さ約150m、1基4500kW、日本国内では前例のない大型風車32基を設置する大規模な計

画です。

日本共産党は、再生可能エネルギーの導入・普及は、温暖化に起因する豪雨対策などのためにも喫緊の課題であり、一層の推進が求められています。

しかし、規制の弱い日本では、きちんととしたルールや規制が未整備のため利益追求を優先した乱開発が起き、住民の健康や環境保全にかかわる指摘しています。

再生可能エネルギーは健全な発展を

大開発による環境破壊、住民の健康・安全が懸念され、住民の願いと相違せず、地域発展に逆行するものであり、日本共産党は、断じて容認できません。

知事意見にも住民にも、不誠実な対応

平井知事は、この事業計画の環境影響評価方法書に対して「事業の大幅な縮小や廃止も含めて抜本的な見直しを行う必要がある」「地権者のみならず相当範囲の地域住民に影響が及ぶ問題」として、2年前から厳しく指摘しています。

事業者は「問題ない」というが、周辺は苦情が噴出

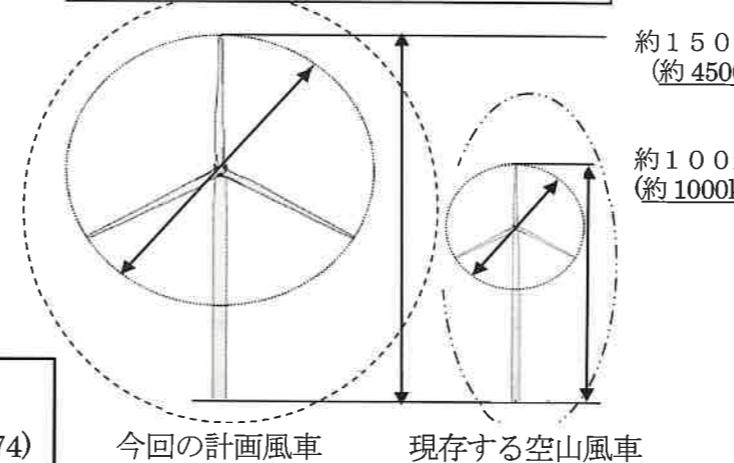
風車の大規模・集中化の本計画では、周辺への騒音、低周波、シャドーフリッカーや、生活への影響が心配されます。また、急傾斜地の山間部稜線沿いに建設されれば、土砂災害の危険が高まります。

北栄町、琴浦町、大山町の風車は高さ約100mですが、周辺の住民が

しかし、事業主の「日本風力エネルギー株式会社」は、計画段階であるにもかかわらず、計画を「受け入れる」、「受け入れない」を地権者に迫り、住民の間に不信感をつくりっています。このようなやり方は許されません。

しかし、事業主の「日本風力エネルギー株式会社」は、計画段階であるにもかかわらず、計画を「受け入れる」、「受け入れない」を地権者に迫り、住民の間に不信感をつくりています。このようなやり方は許されません。

今度の計画は、風車の高さ約1.5倍
出力は4.5倍



大規模風力発電を考える学習会
11月15日(日)14:00~16:00
さざんか会館5F 鳥取市富安2丁目
講師 和田 武さん

和歌山大学客員教授 日本環境学会元会長
経済産業省「調達価格等算定委員会」元委員

日本共産党東・中部地区委員会の見解を紹介します

2020年10・11月号外 鳥取民報社発行(連絡先 0857-23-6674)